

問1 日本には海に面していない「内陸県」が8つ存在します。そのうち、関東地方に位置し、日光市などの著名な観光都市や豊かな山岳地帯を擁する県を次の中から選びなさい。（2020年 三重公立入試 類似）

1. 栃木県 2. 山梨県 3. 長野県 4. 滋賀県

問2 関東地方の農業統計において、生乳の出荷割合が上位である北部の内陸県について述べた文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。（2016年 秋田県公立入試 類似）

1. 群馬県は、山地や高原が多い地形を活かして酪農が盛んに行われており、生乳の生産量は全国でも上位に入っている。 2. 栃木県は、平野部が広いため稲作が中心であり、家畜の飼育は関東地方の中でも非常に少ない傾向にある。 3. 茨城県は、太平洋に面した長い海岸線を持ち、内陸部よりも沿岸部での酪農が産業の中心となっている。 4. 埼玉県は、東京都に隣接しているため、生乳の生産よりもコマツナやホウレンソウなどの近郊農業に特化している。

問3 関東地方の1都3県における人口の動向について、埼玉県や千葉県、神奈川県では、東京都とは対照的に「夜間人口が昼間人口を上回る」という傾向があります。この背景にある、都市の中心部の地価高騰などによって居住地が郊外へ移り、周辺の県が「ベッドタウン」としての役割を持つようになった社会現象を何と呼びますか。（2024年 三重公立入試 類似）

1. ドーナツ化現象 2. 過疎化 3. Uターン現象 4. インバウンド

問4 関東地方のある県は、製造品出荷額において石油・石炭製品が約26%、化学工業が約23%を占めており、これら2つの産業で全体の約半分に達しています。京葉工業地域の中核を担うこの県として正しいものはどれですか。（2018年 千葉県公立入試 類似）

1. 東京都 2. 神奈川県 3. 埼玉県 4. 千葉県

問5 日本の諸地域の位置関係や特徴について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。（2018年 千葉県公立入試 類似）

1. 群馬県は関東地方で唯一、新潟県と隣接しており、その県庁所在地は前橋市である。 2. 栃木県は関東地方で唯一、新潟県と隣接しており、その県庁所在地は宇都宮市である。 3. 茨城県は関東地方で唯一、新潟県と隣接しており、その県庁所在地は水戸市である。 4. 埼玉県は関東地方で唯一、新潟県と隣接しており、その県庁所在地はさいたま市である。

問6 栃木県に位置し、明治時代以降の日本の近代化を支える重要な輸出品であった銅を産出した一方で、周辺流域に深刻な被害をもたらした日本初の本格的な公害事件の舞台となった鉱山はどこですか。（2023年 京都公立入試 類似）

1. 足尾銅山 2. 別子銅山 3. 石見銀山 4. 釜石鉱山

問7 千葉県の沿岸部に形成された京葉工業地域について、その土地形成の背景と産業の特色を説明した文として最も適切なものを選びなさい。（2024年 東京都公立入試 類似）

1. 東京湾の埋め立て地に、製油所や製鉄所、火力発電所などが一体となった石油コンビナートが建設された。 2. 広大な干拓地を利用して、自動車の組み立て工場を中心とした輸送用機械の製造が発展した。 3. 丘陵地を切り開いたニュータウンに、付加価値の高い電子部品などを製造する先端技術産業が集まった。 4. 古くからの港町を中心に、繊維工業や食料品工業といった軽工業から発展し、現在は化学工業が盛んである。

問8 栃木県の産業について、足尾銅山のような歴史的背景を持つ鉱業から、現代の工業へとどのように変化しましたか。現在の栃木県の工業的特徴を説明したものとして最も適切なものを選んでください。（2023年 京都公立入試 類似）

1. 東北自動車道などの高速道路沿いに、自動車や電気機器などの機械工業の工場が多く進出している。 2. 広大な平野を活かし、製鉄所や石油化学コンビナートが立ち並び重化学工業地帯を形成している。 3. 渡良瀬川の水力を利用したアルミニウム精錬が、県を代表する製造業となっている。 4. 輸出向けの絹織物を中心とした軽工業が、現在も県全体の製造品出荷額の大部分を占めている。

問9 ある県の統計データによると、製造品出荷額が約12兆円と全国有数の規模であり、農業産出額も1300億円を超える全国上位の数値を示しています。その一方で、昼夜間人口比率が約88%と極めて低いという特徴を持つ県はどこですか。（2024年 島根公立入試 類似）

1. 愛知県 2. 滋賀県 3. 島根県 4. 千葉県

答え合わせ・解説

問1	答え 1 栃木県	関東地方にある内陸県は、栃木県、群馬県、埼玉県の3県です。山梨県、長野県、滋賀県も内陸県ですが、中部地方や近畿地方に属します。栃木県は日光市を中心に観光業が盛んであり、首都圏からのアクセスも良いため、多くの観光客が訪れます。
問2	答え 1 群馬県は、山地や高原が多い地形を活かして酪農が盛んに行われており、生乳の生産量は全国でも上位に入っている。	群馬県は関東地方の北部に位置する内陸県であり、その地形的特性から酪農が非常に盛んです。特に北部の高原地帯では冷涼な気候を活かしたキャベツなどの高原野菜の栽培と並んで、乳牛の飼育が活発に行われています。一方で茨城県は東側で太平洋に面しており、栃木県や埼玉県も酪農は行われていますが、設問の地理的条件や生産の特徴に最も合致するのは群馬県です。
問3	答え 1 ドーナツ化現象	都市の中心部で地価が上がったり、環境が悪化したりすることで、住居を求めて人々が周辺の郊外や近隣の県へと移り住む現象を「ドーナツ化現象」と呼びます。これにより、東京都周辺の県では居住者（夜間人口）が増える一方で、昼間は都心部へ仕事や学校に向かうため、昼間人口が夜間人口を下回るという逆転現象が生じています。
問4	答え 4 千葉県	千葉県は東京湾沿いの埋立地を中心に、石油コンビナートや化学工場が集積しており、京葉工業地域を形成しています。そのため、全国と比較しても石油・石炭製品や化学工業の割合が非常に高いという特徴があります。一方で、神奈川県は京浜工業地帯に属し輸送用機械が盛んであるなど、県によって産業構造が大きく異なります。
問5	答え 1 群馬県は関東地方で唯一、新潟県と隣接しており、その県庁所在地は前橋市である。	群馬県は関東地方の北西部に位置し、三国山脈などを通じて新潟県と接しています。関東地方の他の県（茨城、栃木、埼玉、千葉、神奈川）や東京都は新潟県とは接していません。また、群馬県の行政の中心地である県庁所在地は前橋市に置かれています。
問6	答え 1 足尾銅山	足尾銅山は栃木県に位置するかつての銅山です。明治時代には最新技術の導入により日本最大の産出量を誇り、外貨獲得によって日本の近代化に大きく貢献しました。しかし、精錬の過程で発生する有害物質が渡良瀬川に流れ込み、農作物や漁業への被害だけでなく、住民の健康被害を引き起こす深刻な公害事件へと発展しました。
問7	答え 1 東京湾の埋め立て地に、製油所や製鉄所、火力発電所などが一体となった石油コンビナートが建設された。	京葉工業地域は、高度経済成長期以降に東京湾を大規模に埋め立てて確保された工業用地に、原料の輸入や製品の出荷に便利な臨海型の工場が集積して成立しました。特に、複数の工場が原料やエネルギーを効率よく融通し合う「石油コンビナート」が形成されている点が、この地域の最大の特徴です。愛知県の中京工業地帯（輸送用機械）や、兵庫県などの阪神工業地帯（化学・金属）との違いに注意が必要です。
問8	答え 1 東北自動車道などの高速道路沿いに、自動車や電気機器などの機械工業の工場が多く進出している。	栃木県はかつて足尾銅山などの鉱業が盛んでしたが、現在は北関東工業地域の一部として工業が発展しています。特に、東北自動車道や北関東自動車道などの高速道路網が整備されたことにより、内陸部へのアクセスが向上したため、その沿線に広い用地を確保した自動車関連や電気機器などの機械工業の工場が数多く集まっているのが特徴です。
問9	答え 4 千葉県	千葉県は、京葉工業地域の中心として高い製造品出荷額を誇ると同時に、大消費地に近い利点を生かした近郊農業が盛んであり、農業産出額も非常に高いという特徴があります。一方で、東京のベッドタウンとしての側面が強く、昼夜間人口比率が低いことが大きな特徴です。愛知県も工業出荷額は非常に高いですが、県内での雇用が多いため昼夜間人口比率は100%に近い数値となります。